

令和5年度 【児童発達支援評価表集計結果（事業者向け）】

公表：令和 6年 2月 9日（金）

発達支援センター さとしょう

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	改善目標 工夫している点など
体制整備 ・ 環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	0	・午前母子療育が曜日によって手狭と感ずることがあります。内容（活動）の見直しをと思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	職員数に余裕がある時もあるため、質の向上に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された空間になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	0	・歩行困難な保護者や小さい兄弟児連れの保護者には階段が負担と思われます。できる限り子どもとてをつないだり、荷物を持ったりして職員が協力するよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	・定期的な換気、消毒などを徹底し清潔を心がけています ・刺激を減らすため、目隠しをしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためにPDC Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	限られた時間の中で、支援内容や業務連絡など話し合える時間の確保に努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	課題を共有し、改善点について意見を出し合い改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	ホームページに公表するとともに、窓口に掲示します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	0	今後、第三者による外部評価を実施予定です。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	外部研修の機会も増えてきました。内部でも職員研修、新人研修の機会確保に努めています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	定期的に評価、懇談を行い、支援計画に反映できるよう職員間で内容の共有を図っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	ABCシートをもとに行動分析を行っています。

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの読み合わせを行い、内容の周知に努め、支援計画に反映させます。 ・保護者との懇談、幼稚園保育園の様子、職員間でのモニタリングをもとに計画立案し、保護者とともに定期的に見直しを行っています。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	支援計画に基づき支援内容を工夫するよう努めています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が立案し、それをもとに意見を出し合い共有するよう努めています。 ・職員同士のコミュニケーションを日頃から大切にしています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	月案を作成し、予め予定を立てることで固定化を防いでいます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	活動や遊びの中で個別の関わりも大切にしています。
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	支援開始前には毎回打ち合わせを行い療育にいかせるよう努めます。
18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	0	0	日々の支援について事後に振り返りを行い、スキルアップにつなげていきます。
19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	4	0	0	記録を取ることで情報共有、振り返りにつなげ、検証・改善に努めます。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0	0	
23	(医療的ケアが必要な子どもをや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当児がおられる場合は実施します。
24	(医療的ケアが必要な子どもをや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当児がおられる場合は、医療機関との連携に努めます。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	0	支援計画、支援シートを作成し、関係機関と情報共有を行いました。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	0	就学連絡会議に出向いたり、学校からの問い合わせに対し、情報共有や相互理解に努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	法人内の他事業所に見学に行ったりケース会議を開催するなど、情報交換を行う中で、助言をもらっています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流があるか	1	2	1	
	29	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	地域の自立支援協議会に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	日頃から、子どもの好きなことや様子を保護者と共有したり、相談を受けたりしやすい環境作りに努めます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	0	0	児童発達支援センター主催のペアレントトレーニングの紹介をしています。
保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	ガイドラインの内容について、職員間で共有します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	必要な助言が伝えられていないと感じることもあり、職員のスキルアップに努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	座談会の開催や保護者会の情報提供をしています。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	苦情があった場合は迅速かつ適切に対応するように努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	会報は発行していませんが、行事の案内は配布しています。
	38	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	視覚支援を行ったり、保護者には文章の内容を簡潔にするなどの工夫をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の学園祭を実施しています。 地域の活動に参加させてもらうことがあります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	入口に掲示していますが、周知徹底に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	全ての曜日で実施を計画し、定期的に順次行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	0	0	プロフィールに記入してもらい、懇談で状況も確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	プロフィールで把握し、具体的な状況は口頭で確認し、職員間で情報共有の徹底を図っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	虐待の研修、人権委員会などで虐待への意識を高め、予防に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	0	対象のお子さんがおられる場合は、計画に記載しますが、身体拘束が必要と思われるケースがありません。

回収率 4名/5名(80%)